

MGF は、☑️神第一主義、☑️キリスト中心主義、☑️聖霊主導主義の教会

礼拝黙想 Meditating on Worship

「老いの意味とは、死、すなわち神との巡り合いのために身を整え、

この世のもろもろのことを諦め、天国に入る準備をすることなのだ。」(ポール・トゥルニエ)

A 明日の「敬老の日」によせて

「老いてからの欠乏を補うのに十分なものを青年時代に獲得しておけ。老年が食物として必要なのは『知恵』である。そのことを知る者は栄養不足にならぬよう、若いうちに努力せよ。」(レオナルド・ダ・ヴィンチ)

「二十歳であろうが八十歳であろうが、学ぶことをやめた者は老人である。学び続ける者はいつまでも若い。人生で一番大切なことは、若い精神を持ち続けることだ。」(ヘンリー・フォード フォード・モーター創設者)

「年をとり過ぎているために聖書が学べないということは決してない。学ぶたびに新しい意味、新しい思考が与えられ、変えられていくのである。」(ジョン・D・ロックフェラー)

「年老いた信者は、神のことばをより深く、神の天国をより遠くまで見ているようだ。」(セオドア・カイラー)

「老いては御子に従え。」(キリストバカズ)

質問) 年老いた親の世話をする事について聖書にはなんと書いてありますか？

答え) 聖書には老年の両親や自分の世話をすることができない家族の世話をすることについて多く書いてあります。初代教会はキリスト者にとっての社会福祉団体の役目を果たし、乏しい者、病人、やもめや孤児の世話をしました。世話をされる必要があった家族がいたキリスト者は彼

らの必要を満たすという責任がありました。悲しい事に、老年の親の世話をするという責任は現在、多くの人が認めたくない責任となってしまいました。

老人は祝福というよりも重荷とみなされる事があります。私たちの親が世話を必要とする時に私たちは親が私たちのために払った犠牲を忘れがちです。彼らを自分の家に迎え入れる代わりに、彼らの反対を押し切って老人ホームに入居させることもあります。彼らの長い人生を通して得た知恵に価値を見出さず、彼らの助言を「時代遅れだ」とみなしてしまうこともあります。

私たちが両親を敬い、世話をするならば同時に神にも仕えることとなります。聖書には「やもめの中でもほんとうのやもめを敬いなさい。しかし、もし、やもめに子どもか孫かがいるなら、まずこれらの者に、自分の家の者に敬愛を示し、親の恩に報いる習慣をつけさせなさい。それが神に喜ばれることです…もしも親族、ことに自分の家族を顧みない人がいるなら、その人は信仰を捨てているのであって、不信者よりも悪いのです。」(1 テモテ 5:3-4, 8)と書いてあります。

しかしお年寄りの方が全員自分の子供の家にすみ世話をされたいと望んでいるわけではありません。他の同年代の人々と一緒に住みたいとか、世話が必要でない人々もいます。状況がどうであれ、私たちは両親に対しての責任があります。彼らが経済的支援を必要としているならば経済的に支援しましょう。彼らが病に倒れるならば世話をしましょう。彼らが住む場所を必要としているならば彼らに住む場所を提供しましょう。彼らが家事の

手伝いが必要なら家事を手伝いましょう。彼らが老人ホームなどに住んでいるならば、彼らを訪問し、必要なケアを受けているかどうかを確認しましょう。

この世の心遣いに気を取られ、大切な事一人に、特に家族に仕える事を通して神に仕える事を忘れないようにしましょう。聖書には「『あなたの父と母を敬え。』これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。すなわち、『そうしたら、あなたはしあわせになり、地上で長生きする。』という約束です。」(エペソ 6:2-3)と書いてあります。

GotQuestions.com 日本語

加齢それとも成長？

たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。
—IIコリント 4:16

プロ野球を見ながら「プロの選手たちは、本当に若々しいなあ。信じられないよ！」などと言いつつ、年齢を感じ出した証拠です。そして、「やあ、元気？」ではなく、「すごく元気そうじゃないか」などと大げさな挨拶をするようになったら、まさしく年を取ってきたということです。

加齢は避けられません。その上残念なことに、私たちは老いを恐れ、加齢を忌み嫌うように世の中に教育されています。しかし、年をとるとは、実際には素晴らしいことでもあるのです。特にクリスチャンは、年齢とともに格段に良い人になる可能性を与えられています。使徒パウロはその事実を「たとい私たちの外なる人は衰え

でも、内なる人は日々新たにされています」(Ⅱコリ 4:16)と言っています。

このような人は、肉体に老化の兆しが少しずつ見られるのと同じように、人格に成熟の兆しが少しずつ見られるようになってきます。年齢とともに成長するクリスチャンなら、気難しくなったり、融通がきかなくなったり、不親切になったりしません。むしろ、人を赦すこと、愛すること、気遣うことにおいて、ますます熟達していくはずで、加齢とはすなわち、イエスに似るための旅を続けることです。私たちは年を重ねるにつれて、ますます自分の行動や態度、考えが、人を引き付けずにはおかない主イエスの人格や暖かさを映し出すようにならなくてはなりません。

年を重ねていく中で、イエスのように成長する機会を積極的にとらえましょう。そうすれば、周りの人たちは、私たちが年齢とともにすばらしい人になっていくことに気づくでしょう。(Joe Stowell)

ただ年を取るのではなく、より成熟したクリスチャンになろう。

古い支度

わたしは背負って、救い出そう。
イザヤ46:4

さり気なく「おばさん、調子はどう」と尋ねると、関節痛を患う 84 歳の友人は、「老いることはきついわ」と小さな声で言いつつも、「でも神は、ずっと良くしてくださったから…」と真心から語りました。

ビリー・グラハム師は著書「天国が近くなって」の中で、「老いていくことは、今までの人生で一番の驚きです…私は今や老人となり、本当に大変です」と書いています。その一方、「聖書は老いの問題をごまかしますが、それを嫌悪の対象とも、歯を食いしばって耐える重荷だとも語りません」とも記します。そして、老いて考えざるを得なくなった問題があると述べます。例えば、「老いて経験する恐れや困難、また、自分でできることが減っていく

という現実と向き合い、乗り越えていく方法を学ぶだけでなく、こうした問題の中にあっても、内面がさらに強められていくにはどうすればよいか」というものです。神は、イザヤ書 46 章で「あなたがたが年をとっても…しらがになっても、わたしは背負う。わたしはそうしてきたのだ。なお、わたしは運ぼう。わたしは背負って、救い出そう」と保証してください(4節)。

この地上でどれだけ生きるか分かりませんが、老年になって、何に遭遇するかも分かりません。しかし、唯一確かなことは、神はずっと私たちの世話をしてくださるということです。

それゆえ、私たちに自分の日を正しく数えることを 教えてください。そうして私たちに 知恵の心を得させてください。(詩篇 90:12)

老いることを恐れてはいけない。神がともにおられるのだから。

神の助けによって

今や私は、きょうでもう 85 歳になります。…あの時の力と同様、戦争にも、また日常の出入りにも耐えるのです。
ヨシュア記 14:10-11

加齢で関節痛がひどくなり、寒い日は大変です。老いに負けたような気分になります。そんなわけで老人カレブは私の英雄です。彼は約束の地カナンを偵察したスパイのひとりでした(民 13-14 章)。仲間たちがモーセに否定的な報告をしたのに、彼とヨシュアだけは神が勝利をくださると言いました。ヨシュア記 14 章は、割当地を受け取る時がカレブに来たと語ります。しかし、そこには未だ追い払うべき敵がいました。カレブは戦いを若い者に任せて隠居したりせず、次のように言いました。「あなたが聞いたように、そこにはアナク人がおり、城壁のある大きな町々があったのです。主が私とともにいてくだされば、主が約束されたように、私は彼らを追い払うことができますよ」(ヨシ 14:12)。

「主がともにいてくだされば」は常にカレブの姿勢です。彼は、自分の力量や老いの現実ではなく、神の御力を見つめました。成すべきことなら神が助けてくださると信じていました。

ほとんどの人はある年齢を過ぎると大きな仕事を引き受けません。しかし、どんなに年をとっても、神のために偉大なことができます。カレブのような機会がやってきてもおじけづく必要はありません。神の助けがあれば勝利者になれます。

天の父なる神さま、一日一日、頑張れる力をくださり感謝します。主のみこころを行うことができるように助けてください。

私は私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。ピリピ 4:13

以上、デイリーブレッドより

ある日、お母さんから電話がかかってこなくなる。

ある日、あなたはお母さんと過ごす時間がもっとあればよかった、もっと笑いを分かち合いたかったと思うだろう。

ある日、「冗談はやめなさい」と優しく言ってくれる彼女の言葉が聞こえなくなり、あなたはその笑いを想像以上に恋しく思うだろう。

ある日、彼女の助言は、どんなに頻繁でしつこかったとしてもなくなる。そしてあなたは、思いもよらない形で彼女の導きを切望するだろう。

ある日、彼女がいつも温かいコーヒーで迎えてくれた家に入ると、そこには誰もいない。

ある日、彼女の声は静寂の中に消え去り、彼女の存在は思い出となる。

時間は、私たちの願いや嘆願に無関心で、前へ前へと進んでいく。そしてその日、あなたは何も、誰も埋めることのできない深い空虚を感じるだろう。

今の一瞬一瞬を大切に。いつか、それがあなたに残されたすべてとなるのだから。

Ω

<お知らせ ANNOUNCEMENT>

★ 11月3日(日) MGF 秋の運動会

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

TRUE WORSHIPPERS, HOT GOSPELLERS, JESUS FREAKS

To Know Christ And To Make Him Known ☒ Love God And Love People ☒ Jesus Is Coming